

平成30年度 協議会総会開催

2018.6.19



特別講演いただいた
小泉智氏



飯塚局長



須賀会長



川上副会長



小野副会長

平成30年度本協議会総会が、いばらき量子ビーム研究センター (IQBRC) 1F会議室に於いて、72名(含事務局)参加のもと開催されました。

冒頭、主催者を代表して本協議会の会長／須賀伸一氏 (日本アドバンステクノロジー(株)代表取締役社長) と茨城県産業戦略部技術振興局長／飯塚一政氏から開会挨拶を戴きました。ついで議事に入り、退任意向を表明された副会長の夢沼克嘉氏 (株化研代表取締役会長)、荒井孝司氏 (株テクノエーピー代表取締役社長) の後任と

して新たに、川上智彦氏 (株化研取締役社長) と小野洋伸氏 (株関東技研代表取締役) を選出しました。なお、前任の夢沼、荒井両副会長には、本協議会が設立されて以来10年に亘り協議会の運営と発展にご尽力を戴き、須賀会長から感謝状が贈呈されました。

その後、事務局／石田正浩から平成29年度活動実績と平成30年度活動計画についてご説明し、ご支援への感謝とともに、本年度施策へのご協力をお願いしました。

講演では、初めに茨城県産業戦略部技監／富田俊郎氏から「中性子産業利用の現状と茨城県の取り組み」の演題のもと、中性子の県内のこれからの十年の目標が紹介され、企業利用への足掛かりを提供戴きました。

更に、「一次加工により集合組織が発達した金属材料の残留応力測定」と題して茨城大学大学院准教授／西野創一郎氏、秋山精鋼株式会社／西田智氏、同関根雅彦氏の3氏が共同でJ-PARC利用事例の報告をされました。また、(株)Bee Beans Technologies 東海事業所長／岩瀬健氏から J-PARCからのGEM型中性子検出器の受注事例が紹介され、企業各社の強い関心が寄せられました。

本総会の特別講演は、「生活用品の内部を見る中性子小角散乱」のテーマで、中性子利用の第一人者のひとりである茨城大学理工学研究科教授／小泉智氏に講演戴きました。まず、前段では中性子等量子線科学が伝統と環境面から茨城県と深い繋がりがあり、J-PARC施設が地元企業と密接な連携の上に構築されていることを紹介されました。更に水挙動測定を可能にした中性子が燃料電池等の高分子生活用品の構成材料分析を可視化するという、一層身近なツールでもあることを再確認した講演となりました。

総会終了後には、名刺交換の場を設け、研究者や企業関係者が互いに理解と交流を深めつつ、J-PARCを核とした活動の活性化を共に誓い、散会しました。

■■■ イベントのお知らせ ■■■

- 高崎量子応用研究所見学会 (高崎市綿貫町1233)
- ◆ 日時：7/6(金) / 13:30・現地正門集合(要免許証持参)
- ◆ 申込：県科学技術振興課 / 上田 s.ueda@pref.ibaraki.lg.jp
- Tel: 029-310-2529 Fax: 029-301-2498
- ◆ 申込締切： 6/29(金)

会員(法人)異動のお知らせ

(H30年6月20日現在 / 敬称略)

◆ 担当者変更 (合計会員企業数：224社)

- ・株式会社 日立テクノロジーズアンドサービス
平澤 裕二 (サービス統括部関東センタ筑波Gr主任技師)
〒300-0013 土浦市神立町603番地
電話：029-832-9560 FAX：029-832-9410
- ・株式会社 中村重工
茂木 仁 (技術研究所所長)
〒318-0001 高萩市大字赤浜字松久保412
電話：0293-20-1700 FAX：0293-22-5649
- ・原子力エンジニアリング株式会社
小澤 誠礼 (総務部総務課課長代理)
〒319-1112 那珂郡東海村村松字平原3129-29
電話：029-287-2828 FAX：029-287-3399
- ・東興機械工業株式会社
鈴木 和右 (常務取締役大洗事業所長)
〒311-1403 鉾田市上釜字堀込587-2
電話：0291-37-1150 FAX：0291-37-4707

◆ 平成30年度・事務局の体制について ◆

本協議会事務局は、(株)ひたちなかテクノセンター企業支援部次長／大高理秀(新任)と、同コーディネータ／石田正浩、満仲



大高理秀



上田 聖

俊夫(いずれも留任)、および茨城県産業戦略部技術振興局 科学技術振興課主任／上田聖(新任) が従事致します。

なお、前任の平野聡と小松崎和久は、4/1付で異動しました。